



女性農業者の皆さんへ 農業者年金ご存知ですか？

農業者年金は「終身年金」ですので、
女性の長い老後をしっかりサポートします。
経営協定を結べば
保険料の国庫補助も受けられます。
女性の農業経営への参画をしっかり応援します！
保険料が全額社会保険料控除の対象で、
高い節税効果！

詳しくは… 農業者年金基金 検索
<https://www.nounen.go.jp>



※農業者年金の加入には、
「国民年金第1号被保険者であること」
「年間60日以上農業に従事していること」
「60才未満であること」
の3つの要件を満たしている必要があります。
※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ！

横田高校

横田高校の活動をお知らせする
「よここうコーナー」

研修旅行

10月13日から14日にかけて、2年生は1泊2日で研修旅行に出かけました。1日の午前は、玉造温泉を訪れ温泉街の活性化について学び、午後は松江市内の大学・短大・専門学校を見学、夜には出雲大社神門通りの復活について研修を行いました。2日目は、松江から出雲大社まで一畑電鉄しまねっこ電車を貸し切って移動し、電車内では一畑電鉄の歴史や課題について話を聞きました。到着後、前日の研修を踏まえて神門通りの散策を楽しみ、午後からは、奥出雲町へ戻り、班に分かれ、地元の課題について、研修を行いました。コロナ禍の中で日程や地域を変更しての実施となりましたが、生徒たちにとって有意義で思い出に残る研修旅行となりました。



一畑電車内の様子

水道料金の減免申請について

奥出雲町では、凍結及び老朽化等を原因とした宅内給水管の破損による漏水に対して、水道料金の減免申請ができます。

漏水が判明したら

- 1 水道課へ相談してください。
 - 2 奥出雲町給水工事指定業者へ連絡して修繕を行って下さい。
 - 3 水道料金減免申請書に必要事項を記入、必要書類（領収書の写し、着工前・着工後の写真）を添付して提出して下さい。
 - 【提出先】仁多庁舎・町民課、横田庁舎・水道課
 - 4 書類審査後、適正と認められれば、納付済の方へは還付、未納付の方へは納付書を再発行いたします。
- ※申請手続は、奥出雲町給水工事指定業者が代行しても構いません。

※毎月の検針時に漏水が判明した場合、水道課から連絡いたしますので、上記2以降の手続きを行って下さい。

※減免額は、漏水時の水道料金と過去一年間で一番多い水道料金との差額の1／2とします。

○減免額算出例

漏水時使用料金	10,000円
過去1年間での最大使用料金	5,000円
減免額	(10,000円-5,000円)÷2= 2,500円

お問い合わせ

奥出雲町役場 水道課
有線: 20-4288 電話: 52-2676

奥出雲町肉用子牛共進会を開催 和牛改良の成果

令和3年度奥出雲町肉用子牛共進会が、10月11日に仁多中央家畜集合所において開催されました。

この共進会は、肉用牛の改良増殖と畜産経営の発展を目的に開催されており、町内9地区および奥出雲町農業公社から選ばれた32頭の肉用子牛が出品され、審査員によって個体審査、比較審査が行われました。

本共進会の上位10席ですが、11月12日に開催される島根中央子牛共進会に奥出雲町を代表して出品されます。

〈審査結果〉

順位	名号	出品者(地区)
特選賞首席	まつざくら	金倉 弘美(阿井)
特選賞2席	ふくみさき2	内田 勇(三沢)
特選賞3席	えいこ3	藤原 ス工(布勢)
特選賞4席	ひろひめ3	古田川 武則(馬木)
特選賞5席	てるさつき	吉川 重義(横田)



▲特選賞首席の「まつざくら」号と金倉弘美さん(左)

世界農業遺産 国連食糧農業機関へ 認定申請書を提出しました

奥出雲町農業遺産推進協議会は、10月7日、「たら製鉄から持続可能な農業へ 奥出雲の農村開発システム」と題した申請書を国連食糧農業機関(FAO)へ提出しました。

申請書は、専門家の助言も受けながら内容を精査し、英訳作業を行いました。

奥出雲の農業遺産は、たら製鉄の営みを通じて砂鉄を採取した鉱山跡地を棚田に再生し、稻作を中心として、和牛の飼養による耕畜循環、森林資源の循環的な利用など自然と共生した農業が行われてきたことを特徴としています。

世界農業遺産は、世界的に重要な伝統的な農林水産業を営む地域(農林水産業システム)をFAOが認定する制度で、現在、世界で22カ国62地域、日本では11地域が認定されています。

今後、FAOによる審査を経て、認定の可否が決まります。審査スケジュールは未定ですが、世界農業遺産の認定をめざし、書類審査、現地調査の対応を進めてまいります。

砂鉄採取後に形成された奥出雲の棚田景観
(鳥上福頬集落)

申請タイトル: From Traditional Ironmaking to Sustainable Agriculture
The Rural Development System of the Okuizumo Area
(たら製鉄から持続可能な農業へ奥出雲の農村開発システム)

申請の概要: 砂鉄鉱山跡地を棚田に造成し、採掘のために導いた水路やため池を灌漑に利用するなど、たら製鉄から発達した知識を農業に応用した独自の土地利用により、稻作を中心とした複合的な農業を営んできた。当地域は、鉱山開発と農地開発を計画的に進めるとともに、地域の資源を有効に活用した循環型農業を受け継ぐことによって、持続可能な農業と多様な文化、生態系を作り上げてきた世界的に見ても稀有な地域である。